

第1回心臓リハビリテーション認定医・上級指導士認定試験講評

第1回日本心臓リハビリテーション学会認定・心臓リハビリテーション認定医・上級指導士認定試験は、第21回日本心臓リハビリテーション学会学術集会時の平成27年7月20(月)に福岡国際会議場で行われました。

受験応募者は28名で、受験資格を満たさない応募者からの申請書類を除外して審査し、症例記載不適切などを除いた25名を受験許可とし、25名が受験しました。受験者の職種の内訳は、医師11名、看護師1名、理学療法士13名でした。

筆記試験は、50問/60分の設問に対し、マークシート方式で行いました。得点分布は平均点69.4±10.8点(mean±SD)(分布点52~92点)で、合格率は60.0%でした。今回の受験合格者は15名となりました。

第1回心臓リハビリテーション認定医・上級指導士試験 合格者

受験番号	職種
004	医師
005	理学療法士
006	医師
007	理学療法士
008	医師
009	医師
010	医師
011	医師
012	理学療法士
015	理学療法士
016	理学療法士
017	医師
018	医師
019	理学療法士
023	医師

職種別合格率

	合格	不合格	合格率(%)
医師	9	2	81.8%
理学療法士	6	7	46.1%
看護師	0	1	0%
合計	15	10	60.0%

心臓リハビリテーション認定医・上級指導士認定試験は初回の試験で受験までの準備期間が短く、受験者の皆さんにはご負担があったと思います。ご提示しておりました達成目標の項目について幅広い範囲を問う問題でしたが、平均点が60点後半と高得点でした。しかしながら、今回の試験では得点の分布にばらつきがあり、合否の判定については当部会を中心に慎重に検討し、理事会、理事長の承認を得て今回の判定といたしました。

今回認定された心臓リハビリテーション認定医・上級指導士の方々は「心臓リハビリテーション医療の質が担保された施設を運営する知識と能力を備えた者」として心臓リハビリテーションのエビデンスの構築、優良なプログラムの管理・統括、人材の育成に取り組んでいただけましたら幸いです。

認定証は9月以降に送付いたします。認定期間は平成27(2015)年9月1日から平成32(2020)年8月31日までです。資格維持のためには会員継続と、5年間で75単位以上の更新単位が必要です。更新の詳細については学会HPでお知らせいたします。また、所属や連絡先が変更になった場合には、速やかに事務局へご連絡ください。